

注目のビジネス中国語を 学ぶ・測る

中国が世界経済の中で存在感を増している今、中国語学習への関心が急速に高まっている。対中国ビジネスをより円滑化するためには、中国語によるコミュニケーションが必要——こう考える企業が増えてきているのだ。そこで今回、中国政府が認定する『ビジネス中国語検定試験／Business Chinese Test』（以下、BCT）の日本事務局を運営するセリングビジョンの小川英郎氏、梁美英氏に、中国語学習の現状について話を伺った。

世界に広がる 中国語学習の波

中国とのビジネスの現場では、商談は英語で行われることがほとんどだ。しかし、例えば片言でも中国語でコミュニケーションをとることができれば、商談する双方の距離がぐっと縮まるのは間違いない。

中国政府教育部の統計によれば、2000年当時に海外（中国以外）で中国語の検定試験を受検した人数は、8,327名だった。それが2010年度には、669,256名に増加している。現在、中国語を学ぶ外国人の数は全世界で4000万人近くに達すると見られ、世界中で中国語学習ブームともいえる状況になっている。

この背景には、中国の経済的発展と国際的な地位向上がある。日本のビジネスパートナーとしても中国の存在感は年々大きなものとなってお

り、これについてセリングビジョンの小川氏は次のように述べる。

「NHK 中国語講座の講師としても知られる甲南大学の杉田俊明教授のお話によれば、日本企業の海外現地法人の売上高シェアは、北米とヨーロッパを合わせて40%、中国一国では22%になるそうです。さらに、中国のシェアに中国語が通じるアジア圏の分を足すと、そのシェアは52%に達し、欧米を凌ぐということです。日本の企業がどのエリアで売り上げているのかを考えれば、ビジネスパーソンが改めて中国語に注目するのは当然の状況だといえるでしょう」

ある民間企業が行った「英語以外で習ってみたい言語」を問うインターネット調査によれば（20代～40代の社会人男女600名を含む1,000名に実施）、20代社会人では中国語がフランス語に次いで2位



小川英郎氏
日本 BCT 事務局長
セリングビジョン株式会社
営業本部 営業企画部長



梁美英氏
セリングビジョン株式会社
中国政府公認試験官
中国語講師

（27.2%）となった。同じく30代では1位（27.0%）、40代でも2位（25.5%）となり、中国語に対する関心の高さが伺える結果となった。このようにビジネス中国語の学習熱が高まる中、日本能率協会マネジメントセンター（以下、JMAM）はセリングビジョンの協力を得て、eラーニングのプログラム『BCT 基礎対応 初級ビジネス中国語コース』を開発した。これを、“定額で1年間、学び放題”という仕組みが好評の『JMAM eラーニングライブラリ』のラインナップに加え、注目を集めている。

実写の講師から 発音を学ぶ

『BCT 基礎対応 初級ビジネス中国語コース』は、全くの初心者でも修了後にはビジネスシーンで簡単なやりとりができるよう設計されてい

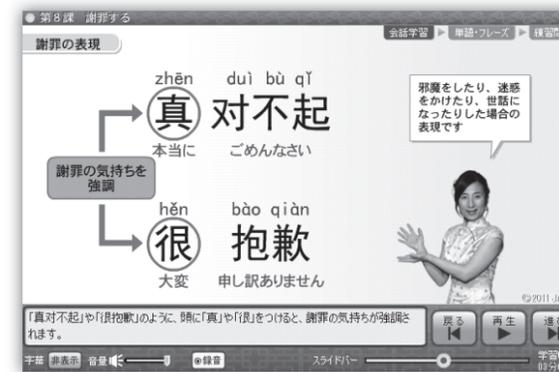
る。日本人にとっては難しい発音を、中国語講師・梁氏が実写版でわかりやすく解説してくれる。

「中国語は、一つの同じ漢字であってもイントネーションの上げ下げで意味が変わってくるという難しさがありますが、実写版で直接語りかけられるように解説していますので、理解しやすいと思います。eラーニングという手段は、手軽に何度でも聞いて、見ることができるので発音を学ぶには非常に適していますし、特にJMAMのeラーニングライブラリは繰り返し受講できるという点で語学を学ぶには最適だと思います。また、このコースは、“ピンイン”という発音記号や和訳の有無も画面上で選択できるので、習熟度に応じて学びを深めることができます」（梁氏）

カリキュラムのベースとなっているのは、北京大学を始めとして、世界各地の国立教育機関で使用されているテキスト。自己紹介をする、来客を歓迎する、何かをお願いする、丁寧に断るなど、ビジネスシーンでよくある状況に必要なやりとりがマスターできる。中国政府実施の「BCT 公式ガイドブック」の単語リストから804の基礎単語を抽出しており、試験対策として活用することもできる。

Webを活用するeラーニングの特性上、遠隔地での学習が可能である。特に、海外の環境で、日本の受講者と同じように中国語を学ぶことができる点は、海外赴任者にとってはうれしいポイントだ。例えば中国に赴任した者が実地でネイティブの

JMAM eラーニングライブラリ『初級ビジネス中国語コース』より



中国語を学びながら、自宅で『BCT 基礎対応 初級ビジネス中国語コース』を使ってゆっくりと復習するといった活用法も考えられる。教材では、会話のスピードを不自然にならない範囲で落としてあり、ヒアリングの基礎力を高めるには最適な設計になっている。

中国政府が実施する 中国語の検定

中国語の学習が進み、ある程度力が付いてきたら、客観的にレベルを測ってみることが重要だ。中国語の実力を測る検定試験にはいくつかの種類があり、特に中国語学習ブームとなっている昨今は、検定試験が急増している。しかし、せっかく検定試験を受けたにも拘らず、数年後にはその検定自体がなくなっていたことは避けたいところ。信頼と実績のある検定を選びたい。

中国政府が実施する中国語の検定試験は、4種類だけ。ビジネス中国語検定試験／BCTと、BCT基礎、青少年向け中国語検定／YCTと、中国語を母国語としない者を対象とする漢語水平考試／HSKだ。そのうち、BCTとBCT基礎、YCTの運

営を日本BCT・YCT事務局として、セリングビジョンが受託している。

ビジネスパーソンに必要な中国語の学力を測るという点では、やはりBCTが最適だろう。BCTは2006年から世界的に実施され、“中国版TOEIC”ともいわれている。これは、中国ビジネスについての専門知識を測るものではなく、あくまでもビジネス活動における中国語のコミュニケーション能力を測るものだ。

BCTの問題はヒアリングと読解50問ずつで構成され、配点は500点ずつ、計1000点。スコア800点以上の5級（ビジネス活動において、中国語を適切に、自在に運用してコミュニケーションを図ることができるレベル）から、200点未満の1級（ビジネス活動において、中国語を用いてコミュニケーションを行うことがまだできないレベル）まで、5段階で判定される。BCT 2級以上は成績表と認定証が発行され、1級の場合は成績表のみとなる。

BCTは年4回実施されており、これまでの5年間で20回近く試験が行われた。

「こうした検定試験で重要なことは、“いつ受けてもレベルが安定し

ていること”だと思います。例えば、ある回で受けたら問題が簡単で上位の等級になり、別の回で受けたら問題が難しく下位の等級になるということは、検定試験ではあってはならないことです。その点は中国政府の教育部がきちんと管理していますし、実際に複数回受験された方からも“非常に安定したレベル”と評価をいただいています」(小川氏)

BCTは“ビジネス”と銘打たれている通り、対象はもちろん社会人だが、学生にとっても有益な資格だ。企業の人事担当者としては、BCTの

資格の有無や等級が、採用、昇給、海外赴任など人事面での決定に際して、判断材料の一つとなる。もちろん、自社の中国語教育と連動させて、効果測定として活用することもできる。

人事担当者がBCTを判断材料とするときに、他の検定試験とのレベル感は気になるところだろう。一つ目の目安として、YCT、HSK等との比較を一覧表にまとめて紹介する。

学ぶ～測る～学ぶ 成長のサイクル

BCTを受け、自分のレベルを客

観的につかんだら、改めて学習することで実力アップが期待できる。JMAM eラーニングライブラリの『初級ビジネス中国語コース』をBCTの受験後に改めて受講すれば、学習～試験～学習という実力アップのサイクルを回すことが可能だ。それができるのは、JMAM eラーニングライブラリならではのといえるだろう。『初級ビジネス中国語コース』の想定学習時間は約8時間だが、最短実行時間は約100分、学びを深めようとすれば20時間かけても足りないかもしれない。レベルとしては“初級”だが、初級をしっかりと身に付けることで、次のステップが見えてくる。

“自分たちの言葉を学習してから、商談に臨んでくれた”。これで好印象をもたない人は、まずいないだろう。例えば片言であっても、中国語によるコミュニケーションが、ビジネスに及ぼすインパクトは小さくない。早速、中国語の学習に挑戦してみてはいかがだろうか。

■検定試験 比較表

YCT (ヒアリング・読解)	HSK (筆記)	単語量	国際標準 中国語 能力	欧州共通 言語基準 (CEF)	目 安	
					BCT (ヒアリング・読解)	中国語 検定
	6級	5000以上	5級	C2	5級	1級
	5級	2500		C1	4級	2級～ 準1級
	4級	1200	4級	B2	3級	3級
4級	3級	600	3級	B1	2級	4級
3級	2級	300	2級	A2	1級	～4級
2級	1級	150	1級	A1		準4級～
1級		80				

- ・BCT基礎2～3級は、BCT1～2級レベルに相当する
- ・BCT、YCT、HSKは中国国家教育部が統括し、世界各国で実施されている (BCT・YCTの日本本部は「日本BCT・YCT事務局」、HSKは「日本青少年育成協会」)
- ・中国語検定は中国語の習得度を測るもので、日本国内の検定

●お問い合わせ先
〈eラーニングについて〉
株式会社日本能率協会マネジメントセンター
eラーニング事業部
〒105-8520
東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル24階
TEL: 03-6253-8025
番号通知をおかけいただくようになっています
(平日9:00～17:00)
URL: <http://www.jmam.co.jp>

〈BCT試験について〉
日本BCT事務局
セリングビジョン株式会社
〒105-0003
東京都港区西新橋1-9-1 プロドリー西新橋8階
TEL: 03-5251-3101
E-mail: ogawah@sg-vn.com
URL: <http://www.bct-jp.com>